

釣りの随想…⑤

大ヒラメを釣った(I)

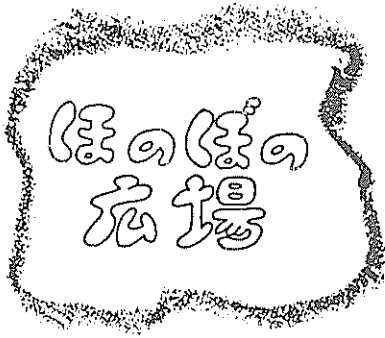
浜田広信 (植田)

趣味

高知市に住んでいたときのことである。酒が統制になり、チケツトがなければ買えないことになりたいへん困った。そのとき、統制の事務を取り扱っている門田某と知り合いになり、ときどきチケツトをもらっていた。

ところが、この門田さんが大の釣り好き。会う度に釣りの話をする。ときどき知人、仲間で浦戸湾に釣りに出かけるが、あまり成績は上げた様子がない。そこで私はこれもおもしろい。心の内で「この人を釣つたらチケツトは楽に手に入る」。

釣り仲間は大抵酒好きだから困



高齢者の感想

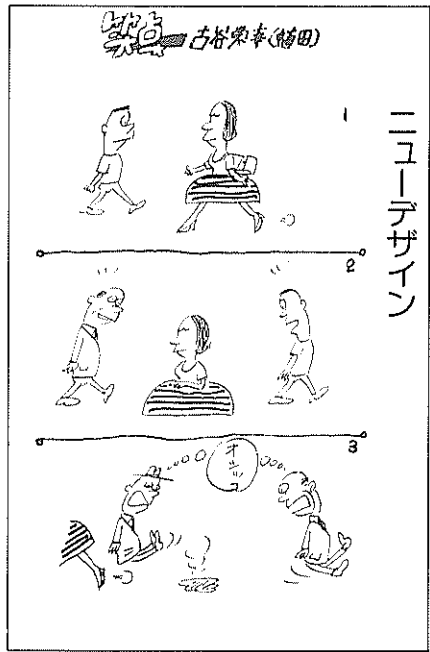
中田政春 (浜改田)

子供しかるな来た道ぢや、年寄り笑うな行く道ぢや、娘が嫁と花

っている。殊に私の師匠格の山本さんは大の酒好き。家へ訪ねてくる度「鼻の赤いおじさんが来た」と告げる子供をしかつた。用件はチケツトだ。また、釣りの情報も持つてくる。「次の日曜は潮もよいが」と誘いに来るので、ときどき二人で行った。

話は元に戻り、門田さんときどき私の舟に乗せ釣りに出かけるようになった。最初はハイカラ釣りの仕掛けに餌のエビを刺すこと

（つづく）



も分からない素人であった。そのうちときどき行くうちに上手になり、どんな魚でも釣りました。それで私は、チケツトという大魚を釣ることに成功した。

（つづく）

眠いて姑と婆と婆となりたりーとの諺があります。

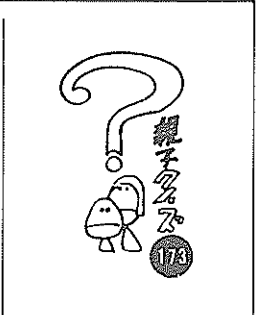
人は途中地下に行かねば、天下の美女もハンサムも皆、梅干しじいさん、ばあさんになります。一人一度の大切な命。出来る限り地上で頑張りたく思います。

幸いに、戦後医療学の急速な進歩と環境衛生規制の強化、経済成長で高度に進んだ医薬品栄養食品物質の多量の出回り、適切な科学的自己健康管理の徹底などで、終戦ごろまでの人生五十年が還暦、古希、喜寿と延び、女は八十歳代

の平均寿命となり世界一の長寿天国となりました。

人は二十五歳で一人前になり、五倍の百二十五歳くらいまで生きる可能性があるとのこと。その一号が、二月に百二十歳で永眠された近代長寿世界一の徳之島の泉重千代翁ではあるまいか。昭和三十八年施行された老人福祉法は、高齢者に生きる希望を与え、また障害を持つ老人や高齢独居者など幸せ薄き人々を慰め励まし、献身的に支えくたさるボランティア、ホームヘルパーの方々のご厚情に心から感謝の誠を捧げましょう。

車や火災、入浴時などの事故、健康管理には十分注意し、この昭和聖代の老人地上楽園で、皆さんと共に末永く元気で明るく楽しく暮らしていきたいと思っております。



ご家庭で話し合つて答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・六月十四日と十五日に第〇〇回土佐希望の家祭りが開かれました。

■しめきり・7月15日

■あて先・〒783 南国市大浦甲三三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第172回当選者発表(敬称略)

(応募総数50通)

- 答え・①②
- 当選者―五人
- 伊尾木崇乃 (東崎)
- 香川喜美子 (大埔)
- 川端和子 (大埔)
- 田ノ畑加代子 (東崎)
- 依光春重 (土末松)